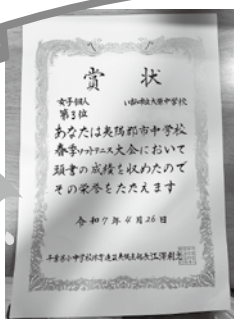


子山ホーム だより

第98号



子ども達の作品&賞状



文集いすみ

俳句

*夏祭り 空まい上がる 光る玉
小五 H・K

教頭賞

*夏は夜 みんなでホタル 光る空
見上げてみれば 綺麗でした
小六 Y・M

短歌

*夏休み ソフトの試合 がんばるぞ
ホームランを 打ちたい気持ち!

小六 Y・S

佳作作品

*プレゼント ぼくにとどいた たん生日
兄もうらやむ ラジコンカー

小六 R・S

最優秀作品



令和七年度

生活支援基本計画(園長指針)

吉田正浩

令和七年度は本園の女子ホームを一ホーム増やし二ホームとします。また今までの保育士・指導員の担当制から複数人担当制へと変更します。これ等は次世代の子山ホーム作りの一環としての変化になります。これには様々な要因がありますが、先ずは子ども達がより多くの職員に見守られる強みを生かします。発達の課題を抱えた子ども達の入所など施設に入所してくる子ども達の背景を考えるとより多くの大人の目が行き届く支援が求められます。また担当の負担を減らすことも要因の一つです。そして安全委員会の内部委員会を活性化させたいと言う狙いもあります。分園については現時点では本園と同じ様にはいきません。これまで中長期計画(次世代の子山ホームの在り方)として五年度は本園を住み込みから宿直制に変更したこと。六年度に定員の削減と女子ホームを新たに新設したこと。今後も次世代の子山ホーム作りは続きます。もう一つ今年度は次世代のリーダー(施設長・主任等)の育成を考えての職員配置となります。また担当が複数になる事を考えると田嶋先生から特別園内研修を通して教わった「課題を共有」するは必須であり、その他さまざまな面で「共有」することが求められます。その為にやらなければならないことは「話しをする」ことです。そして「話を聴く」ことです。これは大人(職員)でも子どもでも同じです。「丁寧」を心掛けましょう。今年度からは、より「チーム子山」が求められる年度になります。そしてその基盤となるものが子山ホームの基本理念になります。一・感謝すること二・信じること三・待つこと四・許すこと五・笑うことを念頭に置いて日々の暮らしを展開していきます。

生活目標

暮らしの見直し・再点検・より良く暮らししていくために

今まで当たり前にしてきたやり方を再度、一から見直していきましょう。私たちが入職した頃から教わってきたやり方が果たして、現在も有効なのかをベテランから新任者まで意見を出し合って子山ホームの生活(暮らし)を見直し、点検していきましょう。キャリア会議(年五回)を有効に生かし意見を出し合います。

専門家による子山ホームの生活空間・境界線(パウダリー)について第三者として客観的なアドバイスを頂き、改善できることは見直してきます。これからの継続して行きます。

その上で同じことが起こらないためにはどうしていけば良いのかをケース会議やキャリア会議にて検討していきます。また専門家の方にも来て頂ける範囲の中で一年間ケース会議に同席してもらいアドバイスを頂きます。キャリア会議(今年度は年5回実施予定)は、昨年度からの新しい試みで、会議を増やすのではなく職員会議の回数を減らし、その分をキャリア会議に充てていきます。キャリア会議は基本的に横の繋がりを重視しています。今後も活発な意見交換の場となる事を期待しています。同時に昨年度より各職種の代表者だけでなく児童支援方針が作成された後(正確には各職種の目標が出された後)すぐに個別にその目標を読み込み個々の目標の他、いくつかの項目に答えて頂き、それを持って年四回の二者・三者面談で活用して頂き最終的に総括に反映させてもらいます。また年三回「職員セルフチェックリスト」および権利擁護の観点から「子どもから見た職員のアンケート」(それぞれ子山ホーム版)を行いその結果については真摯に受け止めて次に生かしていきたいと考えています。

養育目標

子ども達へより良い養育(ケア)の実践をしていくために

今までの生活を見直していく中で、私達の職員としての在り方も見直していきます。先ず施設へ入所してくる子ども達の背景を、ケースを通して確認すること、同時に想像する力が必要で大切になります。子山ホーム(施設)に入所して来る子ども達は一人として自分から望んで来た子は居ません。家族・家・学校・友達等自分の慣れ親しんでいた全てからいきなり離れて児童相談所で過ごし、その後入所してくるのです。ですから私達は、子ども達が子山ホームに入所してきた日がスタートと考えるのではなく、子山ホームで暮らす子ども達から見ればマイナスからのスタートと言うことを知っておかなければなりません。これらを踏まえて、子山ホームの養育の柱である「十五歳からの養育」「安全委員会方式」を、まずは私達一人一人が自分のものとしなければいけないのです。

「十五歳からの養育」については、単純に十五歳になったから自分のことは自分でさせていくではなく、私達は、一人一人の子を良く見極めて、その子が今必要としていることや身に付けた方がよいものを丁寧に支援し、その子の育ちを重ねていくことが求められます。また「安全委員会方式」についても私達自らが学び、正しい知識として活用していくことが大切です。と同時に再度「幼児さんから十五歳までの養育」に関しても一度共通理解をすべき、ケース会などで話し合いを持つていきます。どの年代でもそうですが全て自分の事が自分で出来ることが良しではありません。入所した背景によって幾つであっても大人(職員)が手を掛け、声を掛けて丁寧に関わる時間も大切です。職員から見えて「大切にしたい」でなく、子どもから見えて職員から「大切にされた」と子ども達が実感できる養育を目指さなければなりません。

子ども達に対して、説明責任(アカウンタビリティ)を持つて接していくこと、子ども達の疑問や質問に、自分の言葉で説明出来ること。私達自身が自分自身を大切にしていくこと。子ども達や職員に「思いやり」をもって接すること。言葉遣いも然り、これら私達の姿勢に身近な子ども達は必ず気づいていきます。そして幾つになっても大切なことは「素直な心」だと思います。日々の子山ホームでの生活(暮らし)を大切にしていきたい。

3月10日

南総サッカー

MVP

中高生

最後の大会で優勝できなかったのは悔しいけど、最後までみんなとプレーしてMVPをとれたのは嬉しかったです。ありがとうございます。

高三 M・H

MVP

小学生

南総サッカーで優勝できてよかったです。そして、最優秀賞になれてよかったです。来年は中高生の方でサッカーをします。頑張りたいと思います。

小六 S・K



指導員 池口 豊

3月17日 小6卒業行事 約80km

小六行事については、楽しかったです。最後まで歩いて良かったです。みんなリタイアしてしまったけど、楽しく歩けました。小三行事も頑張りたいです。

S・K

K・O

みんなと一緒に小六行事を楽しめて、嬉しかったです。夜にも寝そうだったけど山道だったので怖かったです。最後まで歩けなかったけど頑張りました。

K・K



山道がきつかった。フエリに乗れたかった。四十六km歩いて足が終った。

K・S

子ども四人と職員二人で浜金谷港から子山ホームまで歩きました。完歩出来たのは子ども一人ですが、皆行けるところで、限界を超えてまで頑張る事が出来て、中学生に向けて大きな一歩を踏み出すことが出来たと思います。またゴールの時には夕方ということもあり、皆からお祝いをしてもらい、子どもにとって大きく成長出来る体験が出来たと思います。

指導員 和田 直樹



2月15日

千児協マラソン大会

令和七年二月十五日に千児協マラソンがありました。参加人数は大人も併せて二十一名。全員が完走でき、入賞者も六名出ました。子どもたちに感想を聞いたので是非ご覧ください。

Cクラスで一位になってよかったです。また来年も走りたいです。

小四 M・Tさん

一位になって嬉しかったです。マラソン大会参加ありがとうございました。

高一 A・Kさん

運動部でもない俺が五キロ走れてびっくりしました。しかも順位も高かったです。寄付のランニングシューズが嬉しかったです。また走りたいです。

中三 A・Sくん

3月12、13日 中3卒業行事 80km

久しぶりに歩きました。一日目から雨…最悪の天候でした。夜になると雨は悪化し、道は水だらけ、私は「寒い」という言葉を忘れました。まっ、とりあえずゴールできてよかったです。

M・S

最初はただただ余裕無かったんですけど、夜中にすっごく疲れてきて、もうこれはリタイアだけが救いなんじゃないかと思いました。朝に寝てからは疲れも取れて、ついた時には達成感で充実していました。

T・S

私の中で中三の行事は、とっても悔しかったです。兎相と予防接種が入ってしまっていた日に行われたからです。Rにいろんなことを言われながら、自分なりに途中から頑張れたことがとても嬉しくて思い出の一つです。

A・Y

最初で最後の中三行事でしたが、八十km完走が目標でしたが六十kmぐらいでリタイアしちゃって、ケガさえしなければ体力もあったから、悔しい思いが残っています。足が痛すぎてみんなも早すぎて余計に泣きながら太陽の里まで歩けました。

R・I

一日目の夜、雨が強くてもあんまり見えなくて、寒かったけどみんな太陽の里に着けてよかったです。近くの人のおかげでうるさくて寝れなかったけど、八十km歩けて良かったです。みんなでゴール目指せて良かったです。大人になったらみんなで中三行事の話沢山したいです。

H・T

僕は、中三行事をして思ったことは、大変だなーと思いました。でも、みんなと楽しい話をしていました。最初は行けると思ってたけど夜が大変でした。でも、温泉入って寝たら回復したので最後まで歩けました。

R・M

中三行事を終えて、私は初めて二日間八十kmも歩きました。深夜大雨の中で歩いて太陽の里を目指して歩いた時が一番きつかったです。でも、みんなで話しながら歩いてとても楽しかったです。

H・A



3月9日



令和六年度 送別会

杉は僕が確か小六あたりからあじさいの担当になったのかな。あの時から六・七年ぐらいたっています。時が流れるのは早いんだね。比較的手が掛からないとは言われていたと思いますが、それなりに迷惑はかけたと思います。中学時代、塾から帰ってきた後ひたすらカップ麺食べたりとか、受験の集合場所を間違えたり、買ってくれた服を着ないどころかしまわずに放置しつづけた、所かまわずウロウロ走り回ったりと思ひ当たるだけでも結構自分でもやっていたなと思います。

大学合格・子山ホーム卒園おめでとう。
小三の時の入所なので、九年以上あなたは子山ホームにいたことになりました。九年ということ、今十八歳なので、人生のおよそ半分は子山ホームにいたことになりました。ずっとあじさいホームにいて、人もかなり入れ替わりましたね。特に環境の変化が苦手なあなたは、大変だったのかなと思います。ホームに落ち着きがない時代もあったので、嫌だな...と思ったこともあったかもしれません。もちろん、あなたのことなので自分自身！こちらが心配していたほど気にならなかったかもしれないけど、空気や気持ちを読むのが苦手なところがあるので、たまに「あれ？」と思うことはあったにしろ、基本的に職員側は、一人分樂させてもらいました。中学生になっても膝の上に座ってきた

すみません。それでも特に大きな衝突なんかもなくゲームなんかの話をしながら卒園まで行けたのは本当に良いことなんじゃないかな。大学の合格発表の日、結果を聞いてとても喜んでくれていたね。あの時は本当に嬉しかったです。そのあとたくさんあった教習所や入学関連の面倒な手続きや新しい住まい探しにスーツの新調などお世話になりました。この後もお世話になることが多少残っていると思います。最後までお世話になります。お願いいたします。さてそんな私も今日で卒園です。さっきまで

話していた通り若干中身の薄い生活を送っていましたが、本当に感謝しています。これから楽しい大学生活を送れるように頑張っていきます。今まで本当にありがとうございました。

卒園生 S・S



り、ベタベタしてきたS君だけれども、かわいいなと思って受け入れていました。そして職員だけではなく、子どもからも愛されていました。特に年上からは可愛がられていたね。覚えてないと思うけど、何かあったら「あ、S君か」「まあ、S君だし」で終わることがあったこと杉は覚えてます。実は前担当の常住さんもあなたのことはずっと辞めてからも気にしていました。夫婦で入所から卒園まで見守ることができてよかったと思ういます。最後になりましたが、S君は色々できる人だと周りから思われているし、自分でも思っています。色々抜けているところがあるので心配です。アパートがゴミ屋敷にならないか、大事な手続きは間に合うように出せるのか等、心配なことはいっぱいです。何か困ったことがあつたら子山ホームを始め、相談できる人に相談してください。杉本夫妻でも構いません。困ったことになって心配するのが気づくのも遅いので心配です。いつでも子山ホームに帰ってきてください。卒園おめでとう。

保育士 杉本 裕樹

たくさん迷惑をかけた

やまへ

この手紙が読まれるころには、私はもう高校を卒業していると思います。あれだけに酷い事ばかりして、いつだってワガママで色んな人困らせていた私が無事、高校を卒業し、今こうしてこの場で話しているのも、今まで私を支えてきてくれた方々のおかげです。子山の

Yくんへ

卒業、卒園おめでとうござい
ます。卒業、卒園おめでとうござい
ます。まず、本当におめでとう。
小五のときに子山ホームにやっ
てきてあなたと出会いました。初
めて会ったときの印象は、頭がよ
さそうで、何てかすごい物知りの
子だなと感じました。でも、す
ぐにその印象はくつがえりまし
た。物知り...というより、へりく
つ。何か伝えれば百に對して文句が
かえってくる。それに対してやま
まは百以上にしてあなたにかえさ
なければいけなくなっていました。
人と一緒に生活すること、学
校にいて勉強して、友だち、先
生とすごすこと、ごはんをたべる
こと、朝になったら起きること、
夜になったら寝ること、あたり前
のことを伝えても、伝わらない。
ゲームが大好きでゲームを何とし
ても使いたいあなたと、やること
をやらせていた私は、何度ゲームの
とりあいでもめたことでしょう。
本当にあの頃は毎日が戦いで、ど
れだけお互いののしり、傷つけ
あっていたのでしょうか。あなた
は何倍も何倍も傷つき苦しんで
いたと思います。傷つけてしまっ
て本当にごめんない。

一旦子山ホームから離れて高校
入学のときに戻ってきました。よ
く頑張ったよね。何やかんやいい
ながら卒業して、就職も決めて

人にはたくさんお世話になり
ました。たくさん人困らせたし、
怒らせてしまいました。その中
でも、やままには、ダントツで
迷惑をかけましたね。怒られて
ケンカして、仲直りできてもま
た次の日には怒られて、それで
もちゃんと怒ってくれたやま
まには、感謝しかできないです。
ほんとうにありがとう。正直、
これから社会に出て、大人にな

今、この場所にあたっています。

安全委員会十周年のときにも
話したけど、戻ってきたからあ
なたからは「暴力」はありません
。それがどんなにすごいことか
人ってかわれるんだよね。改めて
実感しました。「暴力はしない」
って自分の力でかわれたこと、小
五のときのあなたをよく知って
いる人たちは、「暴力をしないあ
なた」が卒園していく姿をみて本
当に嬉しん、誇らしく思うに違
いありません。もちろん、やま
まも嬉しくてしかありません。
でも一つだけ、知っておいてほ
しいことがあります。あなたの年
表で歴史をふりかえってかわり
あった方たちに動画、お祝いメッ
セージを頼みにいったときの話で
す。「Yくんのお祝いメッセー
ジをおねがいしたいんですが」と
伝えたときにそ
の人は「Yくん
に何もしてあげ
られなかった。
申し訳なくて、
メッセージをお
くる資格はあり
ません」と泣い
ていました。今
もなお、時が
経ってもあなた
に思いをはせて
いる人がいるこ
とを：あなたの



歴史の中でたくさんの人とかか
わって、支えてもらって、受け入
れてもらってきたこともどう
か知っていてほしいと思います。
Yくん、本当におめでとう。修
学旅行のときにやまママが大喜
からとバームクーヘンのおみやげ
をくれるYくん。物につられるわ
けではないけど、時おりみせるや
さしさをやまママは知っています。
実はまわりのことをみていて行
動できること、やまママは知って
います。料理に工夫して独創的な
アイデアをもっていること、やま
ママは知っています。あなたにはた
くさんの「素敵」などところありま
す。そんなYくんを知ることがで
きてよかった。刺激的な毎日だっ
たけどあなたを担当できてやま
まは幸せでした。ありがとう。
やまより

まずは、少ない時間の中で自分たち三人のためにこのような素晴らしい会を企画してくれた実行委員のみなさん、ありがとうございました。

自分は十三歳の時に子山に来ました。六年間で、鶴間さん、片山さん、遠藤さん、大竹さんの四人の保育士さんに担当してもらい、ここまで成長できました。

自分が高校を卒業し、今ここに立っているのは、毎朝休みの日でも送迎してくれた大竹さんのおかげです。普段は恥ずかしくて、感謝を伝えることができないので、今この場を借りて、お礼を言いたいと思います。大竹さんのおかげで、無事に高校卒業出来ました。

一年間支えて頂き本当にありがとうございました。

鶴間さん、菅野で暮らしたのは半年くらいだったけど、毎日泣いていた記憶があります。担当外れてからも、会う度に声をかけてくれて、応援してよって、ふみならでよって、言ってくれてありがとう。鶴間さんの独特な言葉選びのセンス大好きです。

片山さん、中学二年生から高校一年ま

Mへ

「卒業おめでとう」とつづぎいます。「卒業おめでとう」という言葉贈ることができ、本当にホッとしています。

Mは子山ホームにきてから、いくつかのホームを移動してきました。本当だった一つのホームで職員や周りのみんなと関係を築いていながら卒園をしていくけど、大人の都合もあってそうならなかったことお詫びします。ごめんなさい。Mとは今年最後の一年をすみれホームで一緒に過ごしました。すみれに来てすぐと、学校には行かないから、辞めるからと宣言。学校が始まってからも行きた、いかなかったり、行ってもほぼ遅刻でした。それなのに球技大会や文化祭は朝から行くので、本当に腹が立ちました。九月からはほとんど行かなくなりました。九月のこと覚悟していました。だけど学校の先生や子山の職員は、あなたとあきらめ

での三年間一番長い担当が片山さんでした。中学を卒業し、高校に進学できたのは片山さんのおかげです。片山さんが退職してから気がかけてくれてありがたう。卒業式サプライズで花束持ってきてくれてすいびつくりした嬉しかったです。

遠藤さん、担当だったのは一年だったけど、ひまわりの交代保育士の時から仲良くしてくれてありがたう。言い方よくないかもしれないけど、子山でいけばん親しいのは、遠藤さんだと言えるくらい、自分の人生の中で大きい存在です。休み今までもこれからも大好きです。人生の三分の一子山で暮らし、沢山のことを学び、沢山の思い出があります。自分はひまわりに住んでいた時、片山さん、遠藤さん、佐藤さん、和田さんたちと夜遅くまで、ナンジャモンジャやボードゲームをするのがすごく好きでした。

すみれに移動してからは、部屋にこもってばかりだったけど、リビングから聞こえてくる元気な声にとってもいやされていました。

することはしませんでしたね。何とか皆と一緒に卒業してほしいと色々な人が動いてくれました。十一月から卒業のために、毎日起きるまで起こして送って行って、休みと命を削って登校させました。たっけーだけではありません。たっけーが送りに行っているときは、ホームをフォローしてくれる職員さんがいて、Mの話を聞いてくれる職員さんがいて、毎日のように連絡をくれる先生がいて、本当にたくさんの方が協力してくれました。それと同時にMもたくさん努力をしました。朝、体を無理やり起こして登校して、たくさん課題を提出して、休みの期間に入ってから、学校に行ってきたことだと思いが、本当によく頑張りました。卒業式で卒業証書を受け取った時の表情はとても晴れやかでした。頑張ったよかったと思えたはず。Mは、今までの体験から、なかなか大人を信じて、とができないかもしれません。だけど、

子供たちの中で一番仲良くしてくれたのは間違いなくMだと思います。子山に来た時から今まで、会うたびに声をかけてくれて、自分と遊んでくれて、ありがたう。名前も似ているし、弟みたいな存在のMが大好きです。これからも仲良くしてくれて嬉しそうです。

最後になりますが、子山に来てから今日まで、自分が何となく自由なく生きてこれたのは、園長先生をはじめ、子山に勤めている全ての職員さんの支えがあったからです。今までわがままな自分を支えて頂き本当にありがたうございました。もうしばらくお世話になりますが温かい目で、時には厳しく見守っていただけたら嬉しいです。

少し長くなりましたが、以上です。ありがたうございしました。

卒園生 M・H



社会的養護施設第三者評価結果

総評
△とくに良いと思う点▽

- 施設の運営や支援の体制を大きく変えて、子どもの最善の利益を目指している
- 施設の小規模化と施設機能の地域分散を進めており、定員を減らしている。小規模グループケアの定員は六名として、本体施設は7名、及び定員六名の小規模児童養護施設に変更している。それに伴い、職員も住み込み制から宿直制に変更するなど体制を変えている。より家庭的な環境で個別の養護に取り組み、自立の支援に努めることとしている。
- 地域に根ざすことや地域貢献ができる施設を目指している

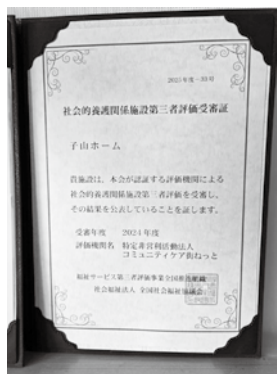
- 今年度はバザーを開催し地域の人にホームを知ってもらう機会として、他機関と連携し地域力フェスの手伝いをしていく。地域のお祭りに参加したり、子どもがスポーツクラブに加入し活動をしている。施設は津波時の避難所に指定されており、学校が避難訓練に使用したり、併設の児童家庭支援センターと連携して家庭や地域の相談に乗るなどしている。
- 子ども自身が自らの生活を主体的に考え、営むことができるよう支援している
- ・小・中・高ごとの子ども会議があり自分たちの生活の問題や課題を話し合っている。
- 職員は生活の中で子どもができないときはやり方を教えたり、できるまで見守ったり、できたときは一緒に喜んでいく。子ども同士のトラブルについても、両者の意見を聞いて子どもたちで解決できるように見守っている。また、安全委員会を設置し、「月一アンケート」により、子どもに対する人権侵害がないか確認している。
- 生と性を考える会を通じて、子どもが自他の権利や境界を学ぶ機会を得ている
- ・男子向け「アトムクラブ」女子向け「フーバーサークル」があり、月一回、少人数制で開催している。この集まりは、一般的な性教育にとどまらず、生命倫理や自他の権利、他者との境界などについて考える機会としている。家庭支援専門相談員や保育士、心理士などが関わり、子どもたちの自立支援につなげている。

△とくに改善が望まれる点▽

- 事業計画は年度途中にも取り組みを振り返り評価し、成果や課題を明確にして推進することが期待される
- ・半年度の事業計画を策定し、事業運営や児

- ・児童のケア等について盛り込んでいる。事業計画は年度ごとに施設長がまとめており、「生活支援基本計画」と連動させて作成している。なお、事業計画は年度途中においても取り組みを振り返り評価し、成果や課題を明確にして推進することが期待される。
- 自己評価や第三者評価の結果から課題を抽出し、取り組むことが望まれる
- ・定められた基準に基づいて実施する自己評価や第三者評価の結果を分析し、施設としての課題を文書化することが促される。課題については職員間で共有し、改善策を話し合い取り組むことが望まれる。
- 災害時体制について全職員に周知徹底し、非常時に落ち着いて対応できるようにすることが促される
- ・事業継続計画（BCP）を始め、非常災害時の手順書類が作成されている。備蓄品も準備し、定期的な非常訓練も実施している。しかしながら職員全員に周知徹底され、浸透しているとは言いがたい。高台にあるホームは地域の避難所にもなっており、地域とのより一層の災害時連携も促される。

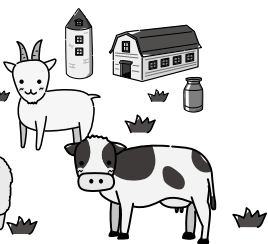
- 第三者評価結果に対する施設のコメント
- ・三年に一度、第三者評価が入ることに對して業務としては増えてしまっていますが一度、自分達の業務、また施設としての在り方を振り返ることが出来る良い機会だと捉えています。これを通して子ども達の最善の利益とは等々を見直し、他の職種にも関心を持てる等、職員の質の向上、施設の在り方を改めて見つめ直したいと思っております。児童養護施設に特化した質問内容になるとさらに良いと思います。今回はありがたうございました。



山旅行

相談し各ホーム
旅行に行ってきました♡

マザーホーム



僕たちのホームは、マザー牧場に行きました。その思い出は、羊をさわったことです。モフモフしていかわいかったです。久しぶりに動物とふれ合えて楽しかったです。また行きたいです。

中二 T・S

れホーム



ホーム旅行はお台場に行つて、動いているユニコーンガンダムをみました。かつこよかったです。その後は、お肉を買いにスーパーへ行きました。お肉は泊まったところでもBBQをしました。うまかったです。あと、泊ったところにスーパファミコンがあったので、スーパファミコとドンキコングをして遊びました。楽しかったです。また泊りにいきたいです。

小六 K・S

後援会の皆様
楽しい思い出ができました、
ありがとうございました。

あじさいホーム



初日は、卒園をしたS君を迎えに行き焼き肉を食べに行きました。宿泊するところが、一軒家みたいで、子ども達はテンションMAXでテレビ大きい!!「広い!!」と大興奮!

二日目の朝、まだここに居たいと言う声も聞こえてきてよかったなと感じました。名残惜しく宿を後にし、幕張にあるレジャー施設「ドンデミ」に行きました。トランポリン・ボルタリングなど子ども達も楽しんでいて、最高の二日間になったと思います。指導員 高橋 茄生

ホーム旅行楽しかったです。僕は幕張に行つてデュエマのカードが買えて嬉しかったです、その他にもボルダリングやトランポリンができる施設に行きました。素敵な体験が来ました。

中3 Y・H



りんどうホーム & ひまわりホーム

りんどうホーム・ひまわりホーム合同でホーム旅行に行ってきました。一日目は公園で遊び、海ほたるで昼食をとつてからよみうりランドへ行きました。公園では遊具で遊んだり、鬼ごっこ。ゲームをして遊び二時間ずつと走りっぱなしでしたが子ども達はまだまだ元気。夕方からよみうりランドへ行き、アトラクションを楽しみつつ夜はイルミネーション!!とても綺麗で子ども達の間も輝いていました。二日目は鎌倉を散策。グループにわかれ鎌倉を堪能してきました。食べたり飲んだりお土産を買ったりとみんな楽しそうでした。夜は温泉に入り充実した二日間を送ることができ、最高のホーム旅行になりました。

保育士 小澤 ころろ



ホーム旅行では、しょっぱなから公園で遊んで疲れました。そのあと車で寝て、よみうりランドでバンジージャンプをしました。本当に怖かったです。次の日は鎌倉小町通りを探索しました。すっごく楽しかったです。協力してくださった職員の皆様感謝します。

中二 H・K





ホーム

こども達と
思い思いの場所へ

すずらんホーム

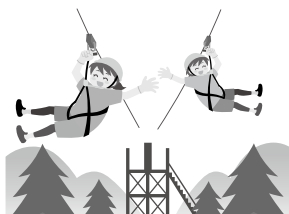
すずらんホーム旅行は、初日南房総へ：ホテルでは早速疲れた身体を温泉とサウナでととのってまったり!! バイキングと飲み放題で子ども大人もお腹いっぱい!! 二十年すずらんホームをまとめた山田保育士への労いの言葉と子どもたちからのサブライズメッセージ色紙のプレゼント、これからの意気込みを語りながら一日目終了、二日目は午前中の雨もやみ、ターザニアへ、高いところからのジップラインに足がガタガタ震えるメンバーもいましたが、皆でワイワイ騒ぎながら最後は全長三百三十六メートルのロングジップにスリルと感動、そしてやっばり、一日の締めくくりは、温泉とサウナで心も身体もととのって帰ってきました。もちろんカラオケもやっちゃいましたよ。アスレチック初体験の、メンバーもおりとても楽しい旅行になりました。

保育士 小倉 利香



すずらんホーム旅行で、アスレチックとカラオケに行きました。アスレチックはとても怖かったです。でもすごく楽しかったです。みんなで遊んだり、ご飯を食べたりしてとてもいい思い出になりました。

高二 A・K



菅野

マザー牧場に行きました！トラクターに乗って牧場をまわるアトラクションで牛さんやヤギさんなど沢山の動物たちを見て子どもたちは興味津々で癒されていました。美味しいご飯で満腹！全開！また今年も良い思い出ができました。

保育士 鶴間 美樹



しらぎくホーム & 吉田ホーム



しらぎく・吉田ホームで行きました。一日目は、学校・キツザニア終わりでそれぞれグループに別れ、各々夕飯、お風呂を済ませ宿泊先に合流。二日目は、相模湖プレジャーフォレストで一日遊びました。乗りものやアスレチックをやり、お昼はBBQ！夜は、綺麗なイルミネーションのライトアップをみて帰ってきました。みんなそれぞれのびと過ごせており、普段一緒に生活していない子同士でお風呂に入ったり泊まりしたりと楽しく過ごることが出来ました。

保育士 山田 麻代



ホーム旅行で、最初は、神奈川で泊まってその次の日に、アスレチックに行くと空中アスレチックは、こわくてできなかったけど、ホーム旅行にいくてたのしかったです。

小五 S・H

私は、Mori Moriに行きました。夜にイルミネーションを見ました。すごく綺麗でした。Mori Moriの温泉で、塩サウナに入りました。普通のサウナより少しだけぬるかったです。

中二 R・S
(吉田ホーム)

すみ

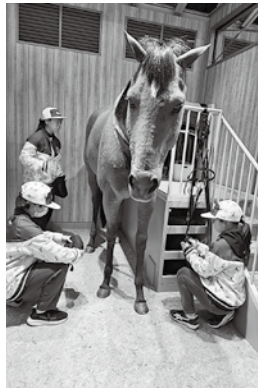
ミューシアムに行きました！普段はあまり大きな声では言えないですが、今日だけはみんなであうんこー！と叫びました！笑その後は南房総のロッジへ行き、BBQでお腹を満たし、夜はみんなゲームをして過ごしました。夜更かしはホーム旅行の醍醐味です！二日目は房総の駅とみうらで浜焼きを食べたり、館山でいちご狩りをして来ました。お腹も心も満たされて、楽しいホーム旅行になりました！

保育士 大竹 貴博



3/19 キッザニア

東京ガスネットワーク スペシャルデー キッザニア東京 関東の
児童養護施設限定 特別貸し切り招待に行ってきました。



4/3・4 新高校生会

今年も行いました新高校生会！今回、二日間にわけて行った内容の多くが自分自身をよく知ろう！でした。今の自分はどういうことが得意なのか。または苦手なのか、友人からはどう思われているのか。高校卒業までの三年間、大変ではありますが自分が自分の課題を知ったり、向き合ったりする機会になったと思います！

指導員 佐藤 和好



新高校生会では、ホテルに泊まることで出来ておしゃれでも楽しかったです。一日目はみんなゲームをして楽しかったです。二日目は子山ホームで生活する上でのルールを再確認することが出来ました。また、自立をする時に必要な最低限のお金がいくらか、自立するときに住む場所は自立援助ホームもあるなど、たくさんさんの選択肢を知ることが出来ました。ソニー生命さんも来てくれて、とてもためになるお話が聞けました。

私にとってこの二日間は勉強の面も、遊びの面もとても充実した時間になりました。

高1 C・K



3/22 進級会

子どもたちを主体として行い、会の流れ・司会・小道具・大道具作りなどをやってもらい多少会の進行などおぼつかないところなどもありましたが無事にやり遂げることができました。また、去年は行わなかった昼食を今年は行うことができ、子どもたち・職員の皆さん・来賓の方々も喜んでいただけた様子でやって良かったと感じています。ありがとうございます。

指導員 新戸 倫希



献立

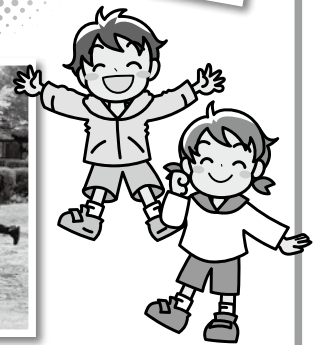
あじさいホーム……フライドポテト
すみれホーム……巾着うどん
すずらんホーム……ポテトサラダ
しらぎくホーム……フルーツポンチ
りんどう＆ひまわりホーム……焼肉丼
吉田ホーム……けんちゃん汁
菅野ホーム……トッポギ



5/3 開園記念行事

令和七年度開園記念行事の実行委員長を務めさせていただきました。
今年度の開園記念行事のプログラムは、全て実行委員で決めました。ルールもすべて一からみんなで考えました。どうしたらみんなで楽しい開園記念行事が行えるかを一生懸命考えている姿勢がとても素敵で、そんな姿に私もやる気を貰えました。本番も実行委員中心に大人も一緒に全力で楽しむ姿が見られてとても良かったです。またみんなで協力して行事を作り上げることが出来たらしいなと思っています。ありがとうございました。

高三 M・I



5/22 大多喜ロータリークラブBBQ

お肉と焼きそばを食べた。
お肉がおいしかった。
小四 Y・W



子山ホームのこと知ったのは三十年ぐらい前のことです。
幼い男の子とお母さんとの、涙、涙で、子山ホームに預けられる、テレビでのシーンからです。
その後、子山ホームのことよく知る浅香ご夫婦に出会うことから、森田園長とお逢いして、お話しをお聞きすることができましてから、大多喜ロータリークラブとして、子ども達に何かできることはないかと、会員と話し合い、クリスマス会を開催して、子ども達にお肉やケーキ食べてもらい、ゲームやクリスマスプレゼントはどうかということになり、約二十年ぐらい続けております。
その他には野球のユニホーム・野球観戦、美術館にと喜んでいただけているかと思いますが、今年は、子ども達と一緒に楽しい時間ということでBBQ会を、五月二十四日に子山ホームにて行い、肉を焼いたり焼きそばを作ったりと、たくさん子ども達がお手伝いして下さり楽しい時間を過ごすことができました。
大多喜ロータリークラブとしてこれからも、未来のある子ども達と楽しい時間を過ごすことを考えてゆきたいと思っています。
大多喜ロータリークラブ 会長 渡辺 多美子





赤井桃佳

こんにちは。新人職員の赤井桃佳です。子山ホームに来てまだまだ日は浅いですが、子どもたちと遊んで笑って、毎日が楽しいです。

最近の趣味はショッピングをすることです。オシャレな服や物を見るのが好きなのですが、私の好きなピンク色をよく手に取ってしまい、部屋がピンク色に埋め尽くされそうで悩んでいます。出掛けることも好きなので、いすみ市のおすすめスポットがあったら教えてください！

好きなスポーツは小さい頃からやっていた卓球です！挑戦お待ちしております！まだまだ分からないことが多く、沢山ご迷惑をかけると思いますが、子山ホームの一員として頑張りたいと思いますのでこれからよろしくお願いします！



茂呂澤優心

今年度入職致しました、茂呂澤優心と申します。私はパワフルな保育士さんを見て、小学校時代に憧れを抱き、そんな保育士になりたいと夢を持ちました。今はまだパワフルどころか、ありのように小さくなっていますが、慣れた頃には私もパワフルな保育士になりたいです。いや、なります。子どもたちと一緒に成長し続けていきます。

少しだけ私についてお話します。好きな食べ物はお菓子です。お菓子があれば生きられます。好きなことは寝ることです。沢山寝てこれからも大きくなっていきたいです。「もろさわゆみ」で呼びやすいように呼んでくれるだけで嬉しいです。学生時代は、「もろちゃん」と呼ばれておりました。ご参考までに。これからは、名前の通り、優しい心を持って子山ホームで精一杯務めさせていただきます。よろしくお願いします。



田中直子

令和4年7月から子山ホーム非常勤保育士としてお仕事をさせて頂いております田中直子です。改めて宜しくお願いいたします。

今年度も分園勤務が主となり、お食事作りを中心とした家事業務を行っております。子どもたちが学校から帰ってくると、台所にいる私に「今日のご飯何ですか？」と聞かれることが多く、毎回子どもたちの反応が楽しみです。

子どもたちが安心して過ごせる環境を心掛け、今年度も取り組みたいと思います。今年度もよろしくお願いいたします。



職員紹介



中村寧々

こんにちは。新人職員の中村寧々です。子山ホームの一員となれて嬉しく思っています。

私の趣味はNetflixを見ること、ゲームをすることです！特にゲームでは最近スマッシュブラザーズを始めたので子ども達に負けないぐらい上手になりたいです！

幼い頃から体を動かすのも好きで中・高はソフトボール部、大学ではバドミントン部に所属し運動していました。今まで鍛えられた体育会系パワーを活かして何事にも頑張っていきたいです！これからよろしくお願いします！



鈴木美香

皆さんこんにちは。新人職員の鈴木美香です。りんどうホームに入った際、『みかりん』というニックネームを考えてくれました。まだまだ募集中です！皆さんが呼びやすい呼び方で呼んで欲しいです！

趣味は、お菓子作りとナノブロック作成（LEGOブロックの小さいバージョン）です。お菓子は、バスケットケーキが得意です。特技は、バレーボールです。最近では体を動かしてないので現役の時みたいに動けませんが、球技が好きです！幼い頃からの保育士になるという夢が叶い、これから児童養護施設の保育士としての生活に、ドキドキワクワクの気持ちでいっぱいです！まだまだわからない事もあり、ご迷惑をおかけする事もあると思います。失敗や成功を繰り返しながら、子山ホームの皆さんのお力添えの元成長していきたいと思います。



渡邊優華

調理師として入社しました、渡邊優華と申します。

私は、千葉市にある児童養護施設で9年間栄養士として働いていました。

5月からは、職場と生活の場を新しく、一人の栄養士とはなく、子山ホームの調理員として多くのことを学び、技術の向上を惜しみなく磨き、子ども達の生活の中にある「食」を安心安全であり、楽しく・美味しくあるように努めてまいります。宜しくお願いいたします。



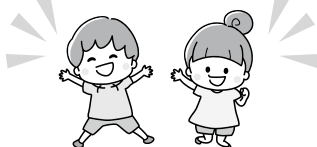
多くの皆様に子山ホームを知っていただくために園庭で行われる予定です。バザーに伴って皆様にお願ひがあります。バザー用品の寄付を募ります。新品のみ受付します。よろしくお願いします。

保育士 吉田 百合子

日時 10月12日(日) 11時～14時
場所 子山ホーム園庭

子山ホームバザーは今から30年以上前、卒園していく子どもたちのために少しでも役に立つお金ができればいいかという思いから始まりました。そして、今年も子山ホームバザーが行われる予定です。

後援会主催
子山ホームバザー
のお知らせ



退職者あつじ

子山ホームの子ども達、職員の皆様、関係する地域の皆様、大変お世話になりました。もちろん、三六五日の毎日が楽しい日々というわけではなく、大変なことも沢山ありました。ただ、この満十年間を振り返るときに、最初に思い浮かぶ感情は、楽しかったな、という感情です。子どもたちの毎日の成長を感じるのが何よりうれしかったですが、私も人として成長させてもらいました。ありがとうございました。

保育士 杉本 裕樹

このたび、定年を迎え退職することになりました。これまでご支援とご厚情に心より感謝申し上げます。本当に有難うございました。新しいスタートとして非常勤で子ども達の成長を見守っていきたいと思っています。

調理士 藤平 定子

一年間ありがとうございました。この一年間で私が学んだ事は、あきらめないでとことんぶつかっていくという事です。最初は気持ちが伝わらなくても、その人さえあれば気持ちが伝わり、輪が出来、友や仲間が出来、楽しい一年でした。

非常勤 小口 優紀

子山ホーム職員さんへ

家庭復帰した子どもから手紙をいただきました

令和四年三月ごろから今まで沢山迷惑をかけてごめんなさい。でも、ここまで成長できたのは、外で沢山遊んでくれたり、通院に連れて行ってくれたり、一緒に謝罪をしに行ってくれたり、本当にありがとうございました。「ごめんなさい」と無限に出てくる「ありがとう」がいっぱいあります。受験のお花のお守りも、手紙もそこにはださなかったけど、泣くほどうれしかった。何回も読み直し、手紙のおかげで一人じゃないと思えて受験に行くことができました。三月半ばには子山ホームから旅立ってしまうけど、遊びに来るし、沢山恩返ししていきたいと思っています。今までも本当にありがとうございました。これからも、何かあったらよろしく願います。

すずらんホーム 中三 A・Y

寄付

皆様からの温かいご支援に心より感謝申し上げます！



24時間テレビ
やす子様



(株)王将フードサービス
「餃子の王将東金店」様



白子町の森様



東京都の松崎様



セブンイレブン
大多喜船子店の池田様



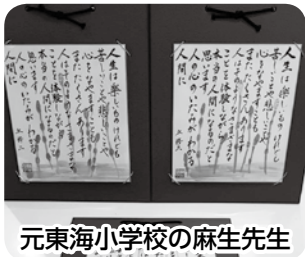
チュチュアンナ1%クラブ様



印西市市民公益活動団体
ShakeHands 様



株式会社西川様の齋藤様



元東海小学校の麻生先生



九十九里いすみ
いちご園秀吉農場様



山武ネットワーク様



東京都の松崎様



金城様



公益財団法人
那須記念財団様

この他にもたくさんのご寄付頂きました♡

●チャリティーコーナー

敬称略、順不同 (令和7年2月1日～令和7年5月31日)

個人		団体	
藍野悦子	吉野	子山ホーム後援会	イーリン株式会社
市原浩一	村松千春	大美屋菓子舗	24 時間テレビチャリティー委員会
森 清三	永石友樹	(有) 三信自動車	株式会社 徳倉
高橋	松原康代	ENASA KIKUYA	株式会社チュチュアンナ
齋藤	桶田真由子	日本児童財団	さんむ野菜ネットワーク
石渡 清	水島一成	(株)王将フードサービス	サンタパイク
和泉伸治	麻生	セブンイレブン大多喜船子店	株式会社シズキ
長谷川政二	加藤直美	カーブス フードドライブ	子ども会
井上静樹	中西昭満	大多喜ロータリークラブ	印西市市民公益活動団 ShakeHands
松崎宜哉	大谷	株式会社チュチュアンナ 1%クラブ	公益財団法人那須記念財団
左草 哲		みのりの会	キャメルゴルフリゾート
渡辺		いすみ学園	(株)マームジャパン
中村文俊		ソニー生命	株式会社トライアングル
吉川昌孝		(有) 港和防災設備	齋藤園芸
藍野常司		株式会社コスモ技研	
椎名真弓		九十九里いすみいちご園 秀吉農場	
齋藤		株式会社 西川	



ボランティアの方々 (敬称略) ※令和7年2月1日から令和7年5月31日までの間で活動していただいた方々です。

- ・NOP 法人アニマルセラピー with ワン
- ・いすみ市生涯大学 OB: 実りの会
- ・NOP 法人ブリッチフォースマイル
- ・床屋: ヘヤーサロンヤノ
- ・ソニー生命
- ・金城
- ・ashinaga プロジェクト
- ・株式会社キャメルゴルフリゾート
- ・大多喜ロータリークラブ
- ・大和ヒロシ

◆◆◆ 令和7年度後援会名簿 ◆◆◆

敬称略、順不同 (令和7年2月13日～令和7年6月5日)

清水祐治	梶永光洋	吉川昌孝	マームジャパン(株)	大多喜ロータリークラブ
清水素子	井爪よし子	井上静樹	鴨川聖フランシス教会	サンタパイク
渡邊嘉代	坂本忠彦	和泉伸治	(株)房 給	株式会社 コスモ技研
中尾清嵩	安井利雄	長谷川政二	株式会社 徳 倉	
山田康弘	中西昭満		株式会社 シズキ	
森口ますみ	桶田真由子		子山ホーム後援会	
安藤守男	徳倉基弘			



※上記の名簿は令和7年2月1日～令和7年5月31日(6月5日)までに納入された方で、それ以降、納入された方は記載されていません。
 ※高額のご寄附の場合は、同封の振り込み用紙では取り扱えなくなります。その際は、お手数ですが子山ホームまで連絡を頂きたいと思ひます。
 ※後援会名簿にお名前の掲載漏れがありましたら、何卒ご容赦ください。

▲編集後記▼

皆さんこんにちは、九十七号の編集後記で書かせていただいた高校受験ですが、無事全員合格いたしました。進級会では、自分たちの目標を聞かせてくれました。部活に入って頑張っている子、バイトを始めようとしている子と楽しいハイスクールライフを送っております。今年度は、四人の新人さんと一人の調理師さんが来てくださいました。パワフルな方たちで子ども達と元気に遊び、過ごしてくれています。子山ホームの仲間になってくれたことを嬉しく思います。夏の行事にも参加してくれと思うので、次回号も楽しみにしていってください。リアルタイムで子山ホームのことをお伝えできると思ひますので、ぜひチェックして頂けたら幸いです。

保育士 齋藤 寛美



子山ホームだより 第98号
 発行日: 令和7年6月23日
 社会福祉法人
 チルドレン・パラダイス
 児童養護施設 子山ホーム
 千葉県いすみ市深堀685番地
 TEL 0470-62-2325
 FAX 0470-62-8828
 Eメール info@h-koyama.or.jp
 http://www.h-koyama.or.jp/

※今後「子山ホームだより」の送付は遠慮したいという方がいらっしゃいましたら、遠慮なく子山ホームまでご連絡ください。